

せっけんシャンプー&リンス tsuya サンプルプレゼント

その髪のごわごわ、毛髪状態が原因かもしれません？！

「合成シャンプーからせっけんシャンプーに移行するとき、髪がゴワゴワ、パサパサして断念した」というお声をよく聞きますが、これはキューティクルが本来の正常な状態でないことが原因と考えられます。キューティクルや頭皮の再生には時間がかかります。せっけんシャンプーを使い続けることで、やがてキューティクルの整った髪が蘇り、紙も頭皮も本来の健康な状態に戻っていきます。

◇新しいせっけんシャンプー&リンスtsuyaは、もうお試しになりましたか？

「せっけんシャンプーをまず使ってみていただきたい！！」という想いから、シンプルタイプ各10ml、リッチタイプ各15mlのサンプルをセットでプレゼントいたします♡（応募者多数の場合は抽選）

◇せっけんシャンプーは市販の一般的なシャンプーとどう違うのでしょうか？

シャンプーは頭髮と頭皮を清潔に洗浄するためのものです。

頭皮の汚れは油なので、その油を洗い流すためのシャンプーは界面活性剤が主成分です。界面活性剤とは、本来混ざらない水と油を混ぜて、水だけでは落ちない油汚れを落とす役割をします。

この界面活性剤には「天然界面活性剤」と「合成界面活性剤」の二種類があります。

せっけんシャンプーは「天然界面活性剤」を使用しています。原料は植物性油脂です。それに水酸化ナトリウムや水酸化カリウムを反応させて作ります。製造工程は3000年の昔から変わらずとてもシンプル。天然界面活性剤のせっけんは、汚れにはとても強く、また、簡単にすっきり洗い流せるので身体にも優しく、環境中に放出されると自然界のイオンと反応して不活性化し、金属せっけん（せっけんカス）となって水中生物の餌になったりします。組成が単純なので分解されやすく約1日で水と二酸化炭素になり、環境への負担が少ないことも自慢です！

逆に、一般の店頭で販売されているほとんどのシャンプー、リンスは「合成界面活性剤」を原料としています。製造には複雑な工場プラントが必要で、近年はヤシ油など天然油脂を原料とするものも出てきましたが、高温高圧をかけて化学変化させているため、自然界では存在しない分子構造になっており、そのため自然界では分解されにくく、人間や環境への影響が懸念されます。

合成シャンプーは強力な洗浄力で頭皮や毛髪の油をとり、髪の表面を保護しているキューティクルにダメージを与えます。そのダメージを受けた髪の表面をコーティング剤でコーティングし、一時的に髪はサラサラになりますが、髪そのものが変質しているため、本来の健康な髪とは異なる状態だということを忘れてはいけません。*サンプルお試し後、簡単な利用感想を提出していただきます。ご協力ください。

健やかな髪と頭皮のために作られたせっけんシャンプー&リンスtsuyaをぜひお試しください！！

◇Tsuya サンプル申し込み

1月29日（金）締め切り

お名前

組合員№

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	デポ	<input type="text"/>	7	-	コース	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----	----------------------	---	---	-----	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

せっけんシャンプーをお使いですか？ 未利用 混合利用 わからない

使用後にレポートアンケートにお答えいただけますか？ できる できない わからない